

前略

この度は「山と人」20号を送り下さり有
りどうございました。下記に寄付も及
ませんが、この点も立派な所をお送り
下さり恐縮であります。

早速読みました。序文2章の登山日記の
興味深く、中国側の初重視の「ガイド」
的登山で居ておられることは、遅いものでは
は、かっこ日本のように食欲だと感じ入りました。
神戸から上海までの船旅の内容、上海での滞
在と、中国の変貌を垣間見ましたが。

序文以来、自分の仕事のみ追かれ、まさに「ガイド」
化され、初重視してます。「登山」などと云
ふり忘れてあります。60近くになるごく頃より
近隣の山々を登りました。

皆さんにおかれまして、ご自身の上、日記
ものの、登頂、挑戦と御活してあります。